

◎内務大臣の交

送 近衛内閣の

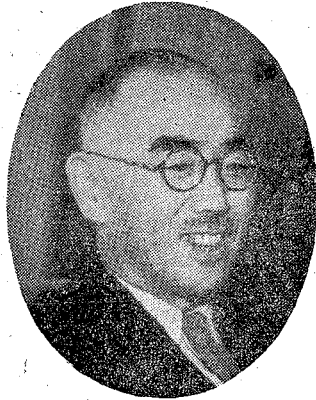


東 總辭職に依り内務
條 大臣も亦交送し田
内 邊治通氏退き東條
務 内閣總理大臣が兼
大 攝することとなつ
臣 た、即ち陸軍中將

東條英機氏は内閣

總理大臣兼内務大臣陸軍大臣に任ぜられた。此三相を兼攝の意義を考ふるに東條首相は陸相と内務大臣をも兼任することになつたが、この二相兼任こそは東條内閣の本質を有力に物語つてゐるといへよう、けだし陸相の兼任は特に現役にとゞまつて首相となつたことから見ただけでもすでにその意義の重大性は推測し得られ

ること、現前の緊迫した情勢に對應するためには軍政と軍令即ち嚴然たる軍統帥の立場からいつて首相の陸相兼任は臨戰下最も望まじき事柄であり、政府と軍との一體化は取りも直さず政府、軍、國民との一體化であり、これで盛り上る政府の政治力こそ眞の「推進力」であり、全き意味で一億一心の大進軍を可能ならしめる力といへる。内相の兼任もその含みは重大である、内外の情勢いよ／＼容易ならぬ事態に突込んで行くからには行政機構の上に、また經濟機構の運轉につき一大刷新を斷行する必要がある、かゝる場合における内相の擔當分野は國內治安の問題と共に實に廣汎である、こゝでも結局は國民生活に最も接觸多く、かつ關係深い内務大臣の管轄事項を通じて「勝利」のために必要な要求が融通無碍に、しかも「電鑿的」な速さをもつて受容され、期待された成果を挙げねばならぬといふことが唯一の目標である、内相兼任による治安關係の問題は同時にまた國土防衛司令部、憲兵司令部の機能とも關聯して陸相兼任の効果と共に陸、内兩相兼任の首相の下に一切の指導力が集約され一元化されて行く、大いなる道々を示唆してゐるものであらう。



◎内務次官の交代 齋場軍藏氏

湯澤氏は退き湯澤三千男氏内務次官に任せられた、湯澤氏の経歴は本誌「歴代の土木局長」と其時代」参照。

◎内務省國土局長の交代 成田一郎氏

成田一郎氏は内務省地方局長に轉せられ其後任として鹿兒島縣知事新居善太郎氏が國土局長に任せられ。氏は東京府人、本年四十六歳、大正十年東

◎成田前國土局長の挨拶 十月二十一日午後四時國土局員は

第一會議室に參集成田前國土局長は徐るに「私が元の土木局長に就任したのは昨十五年一月で一年と九月に成ります今因地方局長に轉せられたが其間敢て長しとは謂ひ得ざるも見方に依りては相當長き感しかする、土木の仕事に不知不識でありながか大過なきを得たるは局員各位の御援助の賜で中心から感謝する、唯遺憾なるは土木局の改組である即ち國土局の機構に對し目鼻をつけずして去ることである、時局重大なるものある今日諸君は益々邦家の爲努力せられんことを希ふ次第である、私の後任には曾ては事務官道路、河川兩課長の経歴を有する新居氏が来るので私は安心する、私は矢張省内に在り即ち一階より二階に移つたのみであるか相變らず公私御交誼を御願ひする(要旨)と述べられた、之に對し高橋港灣課長は局員一同を代表して「閣下を土木局長として戴いた以來一年九ヶ月閣下は殊に私共を愛撫指導せられ愉快に各自の職にいそしむことを得たることを厚く御禮を申上ぐ、閣下が一年九ヶ月の間或は豫算の編成に或は下關綜合港灣の修築に或は三浦半島綜合道路の建設に或は北上川の改修に或は土木局改組の事に努力せられたることは私共の感謝して措かざる所である土木の仕事に關し熟練せられ之より益々其の才能を發揮せられんとするの時機に轉任せられたるは遺憾且愛惜の情に堪へざるも國政上尤も重要な地方局長に轉せられたるはせめてもの慰みの

大英法卒、同十二年復興局事務官を振出し内務省土木局道路、河川兩課長、官房人事課長を経て昭和十三年厚生省社會局長となり昭和十五年八月十三日鹿兒島縣知事に任せられた。

事である、願くは自重自愛以て現時局下に於て國家の爲盡碎せられんことを云々(要旨)と答辭を述べられた。

◎近刊圖書雜誌 (交換寄贈)

- 土木學會誌 (第二七卷九號)
- 大阪商工會議所月報 (第四一二號)
- 三田學會雜誌 (第三五卷六、七、八月)
- 自警 (九月號)
- 水利と土木 (第一四卷九號)
- 土木滿洲 (第一卷六號航空港座談研究會特輯)
- 土木工業 (第三卷九號)
- 石油時代 (九月號)
- 土木 (九、十月號)
- 東大陸 (十月號)
- セメントコンクリート道路 (六六號)
- 電氣通信學會雜誌 (二二二號)
- 清和 (第八卷九號)
- セメント界彙報 (第四〇三號)
- 企畫 (第四卷七號)
- 法律時報 (第一三卷一〇號)

- 肇國精神 (十月號)
- 水道協會雜誌 (第一〇一號)
- 觀光 (第一卷七號)
- 警察協會雜誌 (十月號)
- 鐵道軌道經營資料 (九月號)
- 汲交通 (十月號)
- 都市問題 (第三三卷四號)

